

施設系木造建築の受注強化

木造ゼネコン目指す

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、約1年半前に木造施設プロジェクト（PJ、篠田和弘係長）を設け、施設系の木造建築物の営業活動を開始した。木造ゼネコンを目指し、初年度の受注件数、金額は7件、4億6000万円を高齢者施設、医療系、幼稚園などの事業者に営業している。

同社は木造注文住宅とプレカットの2分野で事業を展開しており、プレカット事業で受注を狙っている。

木造施設PJが営業を行っている非住宅分野の営業とは別に、注文

住宅事業の流れで施設系、幼稚園や保育園などのチャイルド系施設、その他の事業者に営業している。基本は元請け受注で、企画が

高齢者施設、医療関係、幼稚園や保育園などのチャイルド系施設、その他の事業者に営業している。基本は元請け受注で、企画が

ら設計、施工まで行うが、設計が終わった物件の工事のみも受注する。初年度の7物件はシルバー系1件、医療系4件、チャイルド系1件、その他（自治会館）1件で、このうち3件は工事のみを受注した。

今回上棟したグループホームは、東京都台東区



東京オアシスケア根岸（仮称）の施工現場

採用された。木造耐火構造が可能になったことでS造、RC造とコストで競争できるようになった。他工法で予算が合

東区の準防火地域で木造3階建ての「東京オアシスケア根岸」（仮称）の工事を受注した。これは入札による

われないケースがあれば相談してほしい」と篠田係長は話している。同グループホームは木造1時間耐火（木住協の大臣認定を使用）、延べ床面積623平方メートルで最高高9・95メートル。構造は在来軸組工法で、ボラスグループのオリジナルのジャイアントブレース（壁倍率7倍相当）やパルテノン（同）を使用した。7月末に着工し、11月末の完工予定。